

(別紙4(2))

目標達成計画

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護

事業所：グループホーム みどりの郷ほんじょう

作成日：令和3年7月26日

優先 順位	※項目 番号	現状における課題、解決すべき問題点	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		令和2年初旬以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響は入所者の日常生活様式を大きく変化させている。さらに外出の機会が大きく損なわれている。	全職員が入居者に対して生活全般の責任を自覚し、これまで以上に寄り添い、適切な状態把握はもちろんのこと、変化にいち早く気づきお一人おひとりの認知症状遅延に努める。	・ホーム内での『閉じこもり』にならないよう、施設敷地内での散歩等を取り入れて外気に触れる環境提供を心掛ける。 ・館内でのレクリエーションや行事などを取り入れ、暮らしのうるおいに資するよう努める。 ・外出の機会が慣なわれていることから、例えば、外食に代わる企画を立てることで楽しみを見出せる工夫を行う。	12か月～ 継続
2		コロナ禍中、新規職員採用や欠員補充が思うように進まず、職員間のコミュニケーション不足が顕在し、意欲の向上を喚起できていない。	常にカンファレンス等において目的意識の共有を図り、職員融和を図る。	勤務シフトに工夫を凝らし、体調に影響を及ぼすことのないよう、特に連勤にならないよう配慮を行う。 ・有給休暇やリフレッシュ休暇を取得しやすい職場環境に法人規定等により配慮する。 ・引き続き職員採用を積極的に進め、離職につながらないようにバランスの取れた働きやすい事業所づくりに努める。	12か月～ 継続
3		研修や学習会の機会が限定的であったこと等を背景とした職員の停滞感が拭えない。	レベルアップを図るために、全職員を対象とした、院内、院外ともに幅広い研修・勉強会等の機会を作る。	・研修、学習会、講演会等に積極的に参加することで不断に学習を重ね意識や技術の向上を図るとともに意欲の停滞感を排除できるよう努める。 ・事例検討を進める過程でより良い処遇の在り方を模索し、質の向上を図る ・規則、ルールに準拠した社会人たる規範意識の醸成を図る	12か月～ 継続

1 目標達成計画は、現状認識の共有と課題や問題点の把握、事業所のステップアップへ向けての取り組み目標の設定です。たくさん掲げることで焦点がぼやけないようスタッフ相互で話し合い、直近に優先して取り組むべき具体的な計画を記入してください。

2 ※は記入しないでください。